

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年9月16日(2010.9.16)

【公開番号】特開2009-39294(P2009-39294A)

【公開日】平成21年2月26日(2009.2.26)

【年通号数】公開・登録公報2009-008

【出願番号】特願2007-207160(P2007-207160)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 304 D

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月4日(2010.8.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

電力供給に伴い特定の色で発光されるとともに電流の大きさによって当該発光強度が変化する発光手段を複数有し、該複数の発光手段により発光される複数の色が混合された混合色を発光色として視認可能とする発光ユニットと、

前記複数の発光手段に対する電力の供給が可能な電力供給手段と、

前記電力供給手段から供給される電力に基づいて、前記複数の発光手段に流れるそれぞれの電流の大きさを個別に制御する電流制御手段と
を備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記発光手段と電気的に接続されて前記電力供給手段からの電力供給が可能な電気経路が、前記発光手段毎に複数設けられるとともに、

前記発光手段毎の複数の電気経路について、所定の電気経路に電力が供給された場合に該所定の電気経路に流れる電流を、同一の発光手段に接続されている他の電気経路に流れる電流とは異なる大きさの電流に調節する調節手段が設けられ、

前記電流制御手段は、前記複数の電気経路のうち前記電力供給手段から電力供給される電気経路を前記複数の発光手段に対して個別に切り替えることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記調節手段は、前記発光手段と電気的に直列に接続され、該調節手段に流れる電流の大きさを調節するものであることを特徴とする請求項2に記載の遊技機。

【請求項4】

前記調節手段は、供給される電力と自身の電気抵抗とにより規定される電流を流す抵抗体であることを特徴とする請求項3に記載の遊技機。

【請求項5】

前記調節手段は、供給される電力の大きさにかかわらず特定の大きさの電流を流す定電流手段であることを特徴とする請求項3に記載の遊技機。

【請求項6】

前記調節手段は、前記複数の電気経路のそれぞれに設けられていることを特徴とする請求項2乃至5のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 7】

前記電流制御手段は、前記複数の電気経路に対する電力供給又は停止を個別に行うものであることを特徴とする請求項 2 乃至 6 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 8】

前記発光手段毎の複数の電気経路について、所定の電気経路に電力が供給された場合には、同一の発光手段に接続されている他の電気経路に電力が供給された場合と比べて、前記発光手段の発光強度が半分程度となるように、前記調整手段が設定されていることを特徴とする請求項 2 乃至 7 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 9】

前記発光手段毎の複数の電気経路は電気的に並列に接続されていることを特徴とする請求項 2 乃至 8 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 10】

前記複数の発光手段として、
赤色で発光される赤色発光手段と、
緑色で発光される緑色発光手段と、
青色で発光される青色発光手段と
を備えたことを特徴とする請求項 1 乃至 9 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 11】

前記発光手段は L E D であることを特徴とする請求項 1 乃至 10 のいずれかに記載の遊技機。